

令和5年度に整備した「中央高架下公園」について

1 公園全体の特徵

本公園は、鉄道高架下のため雨天でも利用できることに加え、近隣には、園庭を持たない保育施設も多く、お散歩保育等で多くの利用ニーズがあります。また、本市の公園では唯一、民間の駐車場と接続しており、高齢者や車いす利用者、ベビーカーでも公園利用がしやすい環境にあります。これらの立地特性を活かし『**だれもが利用できる全天候・多世代型の公園**』として、子ども子育てだけでなく、障害者や地域交流、高齢者の健康増進など多様なニーズに応える公園を整備しました。



2 整備プラン検討の取り組み

整備プランの検討にあたり、皆様からご意見をいただきながら進めました。

・ユニバーサルデザイン遊具※について

⇒障害者支援団体(8団体)、障害者福祉施設(2施設)、その他関係団体へのヒアリングを実施

・木製遊具について

⇒地域子ども達(216名)へアンケートの実施、近隣小学校(1校)へのヒアリングを実施

・わくわくひろばについて

⇒近隣保育園、幼稚園(11園)にヒアリングを実施

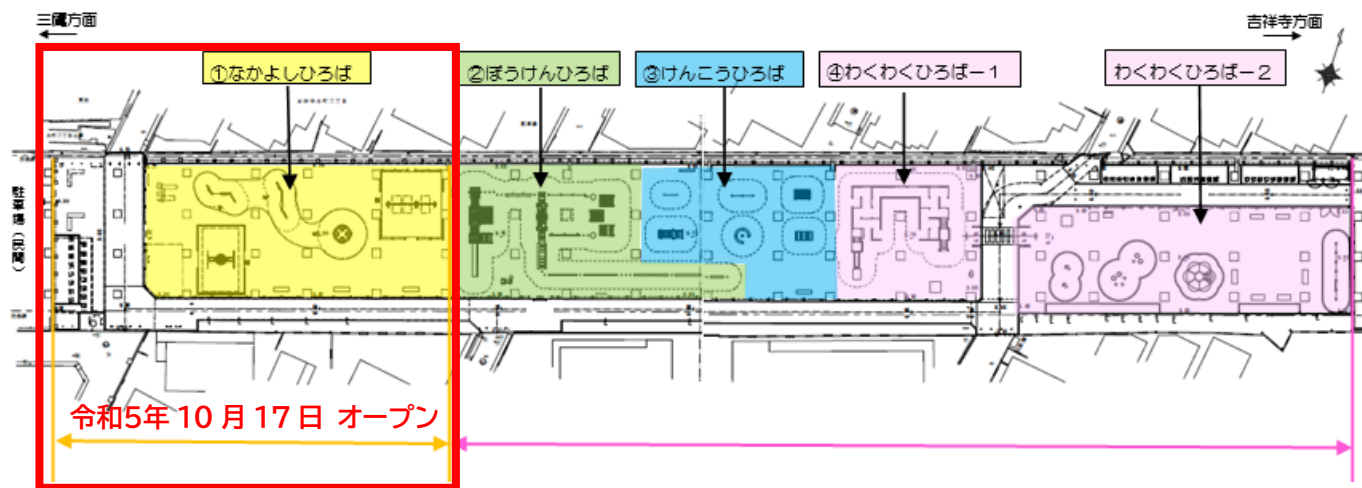
・公園全体の計画について

⇒沿道住民(21戸)へのヒアリング、説明会において意見交換

※ ユニバーサルデザイン遊具

年齢や性別、文化、言語、障害の有無などにかかわらず、どんな人でも利用できるデザインの遊具のこと。

3 令和5年10月17日にオープンした「なかよしひろば」について



(1) コンセプト

障がいの有無に関わらず安心してだれでも遊ぶことのできるエリアを整備します。このエリア内に設置する遊具は、市内の市立公園で初の試みとなるユニバーサルデザイン遊具を設置しました。

【右のイラスト:公園内に設置したサイン看板(大看板)】

(2) 配慮した点

- ・ゴムチップ舗装(安全領域内は緑)
- ・障害者の方にとって抑揚しない配色なのか、色弱の方にも支障がないかを検討(安全領域との配色の濃淡付け)
- ・ユニバーサルデザイン遊具の使い方についてサイン看板を用いて説明(ひらがな入り表記、遊具交代の表記及び外国人向け英語表記)
- ・順番待ちの足跡マークの設置

(3) 平面図及び遊具写真

